

(1)



平川地区内の花壇づくり（古曽中原）

古曽公園内の花壇でたくさんの花を育てています。一昨年少子会が解散したときに、町内会として新たに花壇の整備を始めました。有志が集まって、少しずつ花壇を増やしています。近所の人や保育園の子どもたちが楽しみにしています。

平川地区

社協だより

発行：平川地区社会福祉協議会
印刷：山口印刷工業株式会社

地震・津波災害とその防災対策について —第二十七回地域福祉セミナー開催—

久しぶりに春めいた二月十四日（土）、第二十七回地域福祉セミナーを開催しました。

今回は、近年日本列島の至る所で地震が頻発している状況から、「地震・津波災害とその防災対策について」と題して、自然災害や防災の第一人者である山口大学名誉教授山本晴彦先生の講演をいただきました。

過去に起きた災害をたどりながら、日本列島の構造を説明し、いかに地震が起きやすい状況にあるかをまず話されました。近くでは阪神淡路大震災と東日本大震災を取り上げ、その発生メカニズムの違いとそれによる被害発生の違い、また熊本地震や能登半島地震の被害状況についても説明されました。

そしてこれから予想されている南海トラフ大地震の被害予想を説明される中で、地震が少ないと言われている山口県への影響についても詳しく話されました。県内にもたく

さんの断層が走っており、それに沿って大きな地震が考えられるということです。

私たちも、今一度生活を振り返り、地震対策を真剣に考えて実践していく必要性を痛感いたしました。

特に一九八一年以前の旧耐震の家屋の倒壊が多いことから耐震補強をすること、倒れた家具に挟まれて亡くなられるケースが多いことから家具の固定をして欲しい。

さらに防災ガイドブックやハザードマップを活用し災害を予測し準備していく、自助・共助も必要である、など有意義な講演でした。

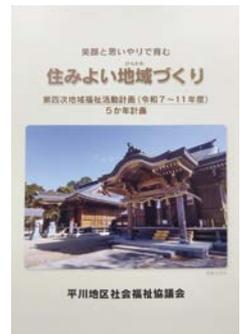


第四次平川地区 地域福祉活動計画 第五回実行委員会開催

今年度から新たに第四次地域福祉活動計画が実施されています。それに合わせて新しい実行委員会を設置し、今年度最後の第五回委員会を一月二十六日（月）に開催し、十五の生活課題に関しまとめの協議を行いました。

第四回の委員会では、生活課題に関わる主な推進団体として、コミュニティ推進協議会、自治連合会、自主防災本部の代表者にも出席し説明をしていただきました。また、高齢者支援グループから高齢者の居場所作りに課題があると指摘があり、いきいきサロンの調査アンケートも実施しました。

一年間のまとめとして三月末には「社協だより特集号」を発行し全戸配布する予定です。皆様からのご意見をお待ちしています。



新しい民生委員児童委員

昨年12月に、民生委員児童委員が改選され、平川地区では、2名の増員となり20名と2名の主任児童委員で構成されます。増員のため、地域編成が変わった地区もあります。

- 上平井 県営平井団地 古曾中原 西大畠・台・指出・姫山ひびき 平井西・馬木領 中野・平川中央団地 平井住宅 開作・北小路 馬木坂本・神郷 岡大塚 関 大塚沖・潤団地 吉田団地A・D 吉田団地B・C 潤住宅・岡小路・瀬利黒 河内・小出・中村・西京 西・黒川中央・吉野 堂紺・平野 田屋島・福良 小原・こばら団地 主任児童委員 主任児童委員

- 杉山 一樹（再） 近藤 晋（再） 重原 千恵美 松田 洋子 泉 裕志 神徳 あや子（再） 田中 宏史 米本 真由美 藤村 正彦（再） 丸口 かおり 浅井 知次（再） 大平 米司 堀 喜代子 未定 松田 広志 未定 藤井 浩 吉武 和子（再） 鳴谷 みね子 上利 祥子（再） 爲栗 睦美（再） 山野 裕子

民生委員児童委員とは

民生委員は、自治会などから推薦され、厚生労働大臣から委嘱された非常勤の特別地方公務員で、ボランティアとして活動します。

地域住民の生活上の様々な「相談」に応じ、行政や適切な支援への「つなぎ役」を果たしたり、高齢者や障がい者世帯の「見守り」など地域福祉の増進に努めたりします。児童委員も兼ねます。児童委員の中から指名され、特に児童福祉に専門的に関わるのが主任児童委員です。

小地区見守り訪問活動 グループ員研修会を開催

今年度二回目の高齢者見守り訪問活動の研修会を昨年十二月六日（土）、民生委員児童委員、福祉員、自治会長に参加で開催しました。

大塚地区社協会長伊達様が「見守り訪問活動の重要性と強化」と題して、安心安全に暮らせる街作りのためにも、小地区での顔が見える支え合う体制作りが大切であると訴えられました。市社協からの説明後、グループワークを行い情報交換を

行いました。特に、今回は三年の任期が経ち民生委員が交替されたばかりでしたので、顔合わせや担当地域の情報交換など実りある研修会となりました。地域の皆様も、様々な困りごとなど気軽に民生委員にご相談ください。

赤い羽根共同募金、歳末助け合い募金のお礼

昨年末には、赤い羽根共同募金及び歳末助け合い募金にたくさんのご協力を頂き大変

ありがとうございました。市共同募金会・県共同募金会に納めさせていただきました。歳末助け合い募金は、支援を必要とされているご家庭に配分されております。

赤い羽根共同募金は、共同募金会から市社協に配分され様々な福祉活動の重要な財源となっております。そして、その一部が平川地区社協にも配分され、地区社協独自の様々な事業、諸団体への助成や福祉セミナーやふれあい親睦旅行の費用等に使われています。今後とも募金へのご協力を宜しくお願いします。

ご協力ありがとうございました。

（10月1日～3月31日）

【赤い羽根共同募金】

自治会	1,710,450円
法人・事業所等	290,000円
平川まつり等	228,994円
総額	2,229,444円

【歳末たすけあい募金】 448,550円



ひとり暮らし高齢者に 激励はがき作成

令和二年から、ひとり暮らし高齢者の中で見守り対象者に、平川中学校の生徒が新年激励はがきとして年賀状を作成し届けています。今年も、一・二年生が心を込めて二百数十枚の年賀状を書きました。高齢者の皆様に喜ばれていることと思います。

また平川小学校でも毎年九月に敬老の日に合わせて、激励はがきを八十二歳以上の高齢者の皆さんに届けています。大変ありがとうございます。

平川地区社協の理事交替

民生委員児童委員の交替に合わせて、社協理事も一部交替となり、次の方が新しい理事に就任されました。

- 理事 浅井 知次
- 理事 杉山 一樹
- 監事 爲栗 睦美

御寄付

たくさんの方の善意ありがとうございます

令和七年五月八日

（香典返し）受付順・敬称略

▽山下 道登

御令室 明 美 様